

# 第7回 南福社区における地域在宅医療 介護連携意見交換会

【主催】南地域保健医療福祉連携懇話会・岡山市

テーマ「食で職をつなぐ」  
～ ミニ講演＆ワールドカフェ ～

講師：山本 道代先生

あいの里クリニック歯科 院長  
岡山市内歯科医師会連合会 理事

日時：平成26年8月6日(水) 19:30～21:30

場所：メルパルク岡山 1階 泰平の間

## ◆ 参加者数：79人（職種別内訳）

- ・ 医師 1人(診療所1)
- ・ 歯科医師 7人(歯科診療所7)
- ・ 歯科衛生士 7人(訪問歯科3、介護予防センター1、歯科衛生士会3)
- ・ 管理栄養士 17人(栄養士会4、薬局2、施設3、病院・医院8)
- ・ 薬剤師 10人(薬局10)
- ・ 看護師 2人(訪看ス1、施設1)
- ・ 保健師 2人(包括1、行政1)
- ・ 医療ソーシャルワーカー 1人(行政1)
- ・ ケアマネジャー12人(居宅介護8、小規模多機能2、施設2)
- ・ 介護職 9人(施設6、ディサービス1、訪問介護2)
- ・ 福祉用具専門相談員2(レンタル事業所2)
- ・ 管理者・相談員 1人(認知症デイ1)
- ・ 事務 2人(行政2)
- ・ マッサージ・鍼灸師 1人
- ・ 愛育委員会長(市民) 1人

## ◆ 施設別参加数：54箇所



# 今回は・・・南地域保健医療福祉連携懇話会の有志でつくる 歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士の皆様が中心になり開催！

「在宅ケアに係わる多職種が集うワールドカフェ」のお知らせ

平成26年6月24日

南地域保健医療福祉連携懇話会／岡山市保健福祉局 医療政策推進課

## 第7回南福社区における地域在宅医療 介護連携意見交換会

### 『食で職をつなぐ！』

～ いつまでも食べたいものを 食べられるように支援するには ～

4月の講演&ワールドカフェでも多数の方にお集まりいただき、心から感謝申し上げます。

第7回目の今回は「口から食べることができる限り最期までできれば幸せ」ではないかとのご意見から、**摂食嚥下の講演とワールドカフェ**を企画いたしました。口腔ケア、栄養ケア等多職種の視点から、より深い連携と情報共有を目的としています。

地域のかかりつけ医、歯科医師、歯科衛生士、薬剤師、訪問看護師、栄養士、介護職員、介護支援専門員、更には病院地域連携室、病院医師、リハビリ職の方など、地域医療・介護、ケアに携わる関係者の皆様、ご多忙とは存じますがお気軽に参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日 時： 平成26年8月6日（水）19：30～21：30 （受付19：00～）

場 所： メルパルク岡山 楽平Ⅰ（住所：岡山市北区桑田町1-13、電話：086-223-8100）

対 象： 地域医療・看護・介護・リハビリ、その調整相談等に携わる関係者の方

テーマ： 『食で職をつなぐ！』

～ いつまでも食べたいものを 食べられるように支援するには ～

ミニ講話：山本 道代先生（あいの里歯科 歯科医師）

※その後ワールドカフェ3セッション

駐車場： メルパルク岡山の敷地内駐車場（40台程度）は無料です。契約駐車場（40台弱）は3時間まで無料、それ以外に駐車された場合は個人負担となりますので御了承ください。

その他： ＊当日の様子（会の様子の写真や参加者名簿、模造紙の写真）を岡山市の当課ホームページに掲載いたしますので、ご了承下さい（掲載が不都合な方は、事務局までお申し出下さい）



連絡先： 岡山市保健福祉局 医療政策推進課 黒住  
電話：（086）803-1637 / FAX：（086）803-1776  
E-mail：nyouseisaku@oknet.city.okayama.okayama.jp

尚、この会は南地域保健医療福祉連携懇話会（南福社区とその周辺部の連携体制構築に向けた地区課題協議のために平成24年度から発足）と岡山市が協同で開催するものです。今回の会は、居樹歯科医師、垣野歯科医師、小橋歯科衛生士、竹内管理栄養士、江口管理栄養士（敬称略）等の皆様が企画しております。

※ 参加希望の方は、**7月25日（金）までに**  
医療政策推進課まで裏紙をFAXいただくか、E-mailでご連絡ください。

## 全体司会の小橋歯科衛生士さん



多くの方々にお集まりいただき、ありがとうございます。  
このワールドカフェを通して、いつまでも食べられるような支援を皆さんで話し合いましょう！

## 今回の主担当をいただいたすえき歯科医院の居樹先生より、開会あいさつ



## テーマ

『食で職をつなぐ』 ～ いつまでも食べたいものを食べられるように支援するには ～

## ねらい

- 摂食嚥下についての討論を通し、それぞれの職種の専門性を知る
- 南地域を中心にお互いが連携をとるよう、摂食嚥下の情報を共有する

19:30 ～ 開会

19:35 ～ ミニ講演(講師:山本道代先生)

20:05 ～ ワールドカフェ・情報交換

第1セッション「 摂食嚥下を知ろう 」

第2セッション「 連携していくためには? 」

第3セッション「 まとめ 」

21:20 ～ 総評

21:25 ～ 閉会



## 山本道代先生 講演の様子

実際の事例t等から食支援のポイントについてお話後、ワールドカフェを3セッション行いました！

竹内管理栄養士さんからワールドカフェの説明です



こんなスライドも・・・

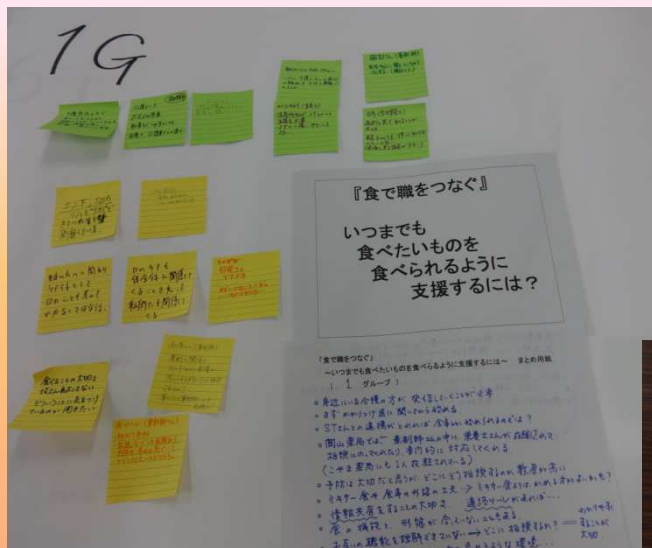


## ワールドカフェの様子

お一人1分で簡潔にまとめて、どんな考えでも歓迎して、全員参加をお願いします！



今回のワールドカフェはこんな感じで  
まとめていただきました！



わかりやすく講演  
していただき、議  
論もできたので、  
今後の南地域の  
発展が期待でき  
と感じます。

トーキングオブジェクトの  
岡山市歯科医師会の  
ハッピーちゃん！



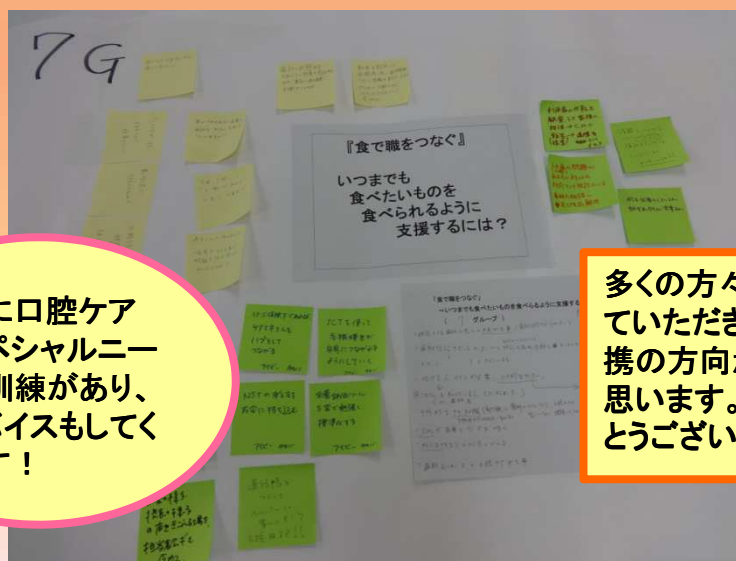
今回企画の発案者である医師の永井先生から総評



山本先生からも  
講評と質問の回答を..



岡大に口腔ケア  
のスペシャルニー  
ズの訓練があり、  
アドバイスしてく  
れます！



多くの方々がこうして集まっ  
ていただき、より多職種連  
携の方向が広がっていくと  
思います。遅くまで、ありが  
とうございました。

垣野歯科医院の垣野先生から閉会あいさつ





「食で職をつなぐ」 ～いつまでも食べたいものを食べられるように支援するには～

## 各グループの「まとめ」

### 1グループ

- 身近にいる介護の方が発信していくことが必要
- まず、かかりつけ医に聞いてから始める
- STさんとの連携がとれれば食事とか始められるのでは？
- ミキサー食や食事の形態の工夫・・・>ミキサー食よりは、かめるほうが良いかも？
- 情報共有をすることの大切さ 連絡ツールがあれば・・・
- 食の機能と形態があっていないこともある
- お互いの職能を理解できていない→どこに相談するか？＝わかりやすくすることが大切
- 連絡ノートの活用（ITの活用が今後できてるのか？） ノートを毎日見れるような環境
- 低栄養だという評価のツール 視点が統一できていない
- ミキサー食では、かむことで脳の活性を図るなど大切
- 食べられない時・・・栄養士さんへ相談してくれると良いです
- 予防は大切だと思うが、どこにどう相談するのか敷居が高い
- 岡山薬局では一薬剤師さんの中に栄養士さんが在中してくれて相談にのってくれたり専門的に対応してくれる（こやま薬局にも1人在中されている）
- PEG 第2の口として条件さえあれば作っても経口との併用もできる  
本人・家族の意志が大切  
今年度中にPEGのワールドカフェが開催される予定も
- 困った時にどこに相談するか？→ケアマネが担当会議を開く  
かかりつけ医の意見は必ず聞いておく

## 2グループ

- ミキサー食は味がなく、おいしくない
- 摂食と嚥下は違う
- 飲み込む力のない人はプリン、かめない人は流動食が良い
- Dr.指示は「食べさせて下さい」デスタッフは「それで詰めたらどうするの？」と意向が違って困る
- HPではペグをすすめられたが・・・口から食べさせたいと思う
- 口腔ケアの時、スポンジブラシにコーヒーを含ませたら口を開けた。アイデア次第かも・・・
- 口腔ケアに関心を持てば食べられなくても食べるようになるかもしれない
- 本人の意志を大切にしなければいけない
- 薬は砕けば、それで効能は一緒なのか？
- 社会資源の把握が必要
- 中心は本人だ！
- 居宅療養管理指導は書類が多い
- 医療保険と介護保険の差があり歯科は医療保険の方が便利か？
- ケアマネに情報が来ない。歯科のDr.と連携して情報共有したい
- 認知症の人は入れ歯を紛失するので困る。半年以内に入れ歯を作ったら保険外で自費。家族が入れ歯の紛失を恐れて自宅で預かりデイに持って来ない。認知症の人は半年以内でも入れ歯を保険で作りたい
- 行政が先頭に立って歯科と栄養をコラボさせてはどうか

### 3グループ

- 訪問歯科につなげていくために入れ歯の保管方法を知る。
- 認知症の利用者さんへの対応を支援する
- 連携
- 歯科衛生士に相談
- 在宅のケアマネへ相談。そこから医師を紹介してもらう
- 薬局で管理栄養士が相談にのっている
- デイサービス利用中に訪問歯科の利用を希望
- デイサービス使用中に入れ歯をなくす
- 日々の状況を報告しあって情報交換
- 栄養ケアステーションの認知度。訪問栄養指導がある
- 訪問歯科に付き添いが必要で、介護者の負担につながっていることもある

### 4グループ

- どこに支援をつなげるか
- 意識を持って情報収集(本人・家族が自分の終末のあり方)
- 歯科がみんな嚥下がみれるようになればよいのに・・・
- ケアマネを中心につなげていく
- 在宅支援チーム(各職種)を作る

## 5グループ

- 評価表(統一されたもの)が欲しい<アセスメント表>
- しっかりとした情報提供をしてもらう
- お互いにコミュニケーションをとる
- 不安な時は専門の職種の方に相談を→サービスにつながらなくても、こういった多職種の集まりを利用して意見の交換を

## 6グループ

- 歯科・栄養の重要性は理解しつつも、現場では「生活」がまず第一
- 摂食・嚥下の検査(VE・VF)は誰(どこに)相談すれば良いか
- 義歯の悩み
- 飲み込みの検査をしてくれる歯科や言語聴覚士がきてくれる歯科もあり訪問もしてくれる
- サービス担当者会議に栄養・歯科がもっと関わっていけると良い

## 7グループ

- ・ 相談できる歯科の窓口のPRが大事(歯科往診サポートセンター)
- ・ 歯科往診サポートセンターにて嚥下に取り組んでいる往診可能な医師を教えてもらえる
- ・ もっと歯科往診サポートセンターをアピールする
- ・ つなげる人作りが必要→システムを知っている人(コーディネーター)CM・歯科等
- ・ ハブ的なセンター→相談できるセンターを作る
  - 医療介護を知っている
  - 流れを教えてくれる
  - 近くの対応してくれる人を紹介してくれる
- ・ 予防的な基礎知識(専門職は、歯科のことを・嚥下・口腔のことを習っていない・理解してくれない)
- ・ 多職種協働研修会に参加する
- ・ CMが医療と介護をつなぐ
- ・ 好きなものなら口から食べられる
- ・ 歯科衛生士が行う口腔ケアが大事

## 8グループ

- ・ 実際に何ができるか、必要か
- ・ 飲み込みができないと服用ができないので服薬状況を確認することも大事
- ・ 嚥下障害を現場のNs・介護が理解する必要がある
- ・ 嚥下リハビリが必要
- ・ 嚥下の評価の知識の向上と他職種との連携
- ・ 体重減少・唾液でのムセ・30分かかる食事・汁物を嫌うのは危険なサイン
- ・ 最低限のスクリーニング知識が必要
- ・ 口腔ケアのスピードアップには電動歯ブラシが有効
- ・ 今できることを見極め、望ましい方向へ導くことが必要
- ・ 薬剤のアセスメントが大事

## 9グループ

- 顔なじみになってネットワークを作る→気軽に相談できる関係
- その方の背景を知って支援する
- 患者さんの実際の様子を見て支援する
- 最後まで食べるために連携は大事
- PEG→経口摂取
- 65歳以上基本チェックリスト(口の中の3項目)→必要な機関への紹介  
職種を超えての働きかけが必要
- 担当者会議に色々な職種が入るとよい
- 一人の方へ一冊のノートで情報を共有する→CMへ

## 10グループ

- 多職種の顔が見える場をもっと増やすことで互いに何をしているか知る機会を増やす
- 問題視できていない。視点を持つ
- ターミナルの方、会議に必要な職種がそろっていない
- 薬剤師・栄養士、敷居が高い
- 栄養士さんに関わる場面が少ない
- 在宅にいる方はどこで栄養指導を受けることができるか→栄養ケアステーション
- 担当者会議に栄養士・薬剤師がいない
- 情報を共有するためのツールがない
- 口腔ケアの優先順位が低い。わかってはいても現場では後回しになる
- 訪問歯科、どれくらいかかるかわからない
- 多職種に対する遠慮があり口に出せない
- 薬剤師や大きい病院の栄養士は、患者に直接関わることが少ない。積極的に関わりたい
- どこに誰がいて、どんな事ができるのか情報が見えるツールがあれば
- 大きな病院では言われているが、在宅では？栄養士・居宅療養管理指導は？

## 11グループ

- 本人と家族の意見が違う場合→多職種で協力→連携を図る
- 口の中にため込んでしまう→食膳に刺激(体操など)
- 入れ歯が合わず上だけに入れている→食事が十分できない→義歯を調整しながら訪問で対応可
- 食べれないと体力がおちる→口の手当てより、どう栄養を与えるかにいく→口の手当てに注意を向けるようになったらいいなあ
- 在宅での口腔体操を実施していないことが多い→職域を越えた連携→遠慮をなくす→専門家にバックアップを頼む
- 元気のない老人→義歯が合わない→QOL↓→訪問歯科の情報の共有
- ムセの場合:ケアマネ→訪問歯科へのアプローチ→まず食形態の検討

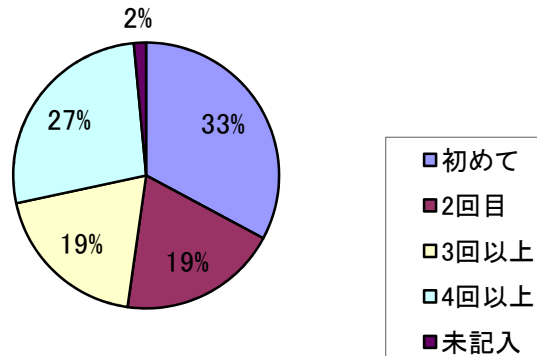
## 12グループ

- 口腔ケアを適正に行う。
- 啓発していく=介護予防教室←知るチャンスを多くする
- 一人ではできないので多職種連携でおとしどころを検討する⇔顔の見える担当者会議  
担当者会議に歯科医・栄養士なども参加へ...
- 口腔ケアの知識・技術を身につける→広める教育必要

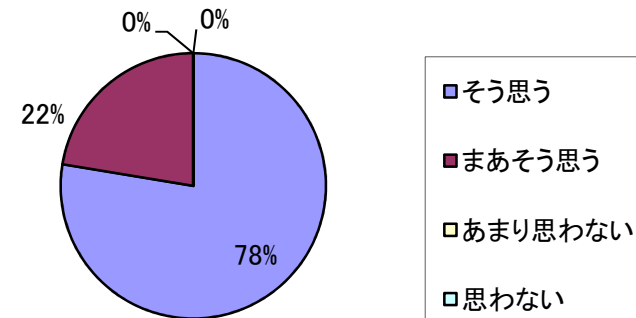
# 参加後のアンケート

回収 67枚／79人

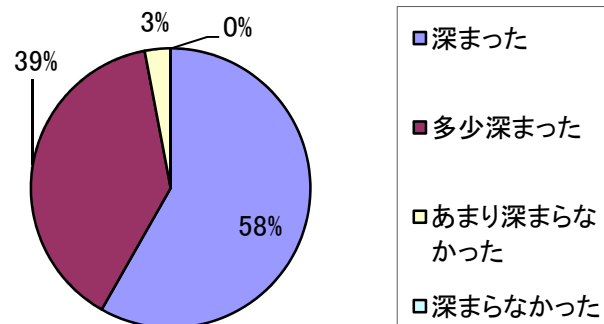
1. 今回のワールドカフェの参加は何回目の参加ですか？



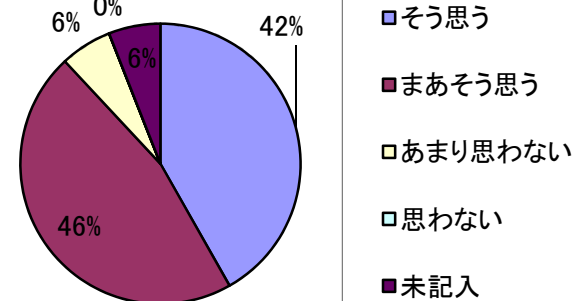
2. 本日の講義の内容は、あなたにとって今後の地域在宅医療・介護連携の促進に役立つ内容だったでしょうか。



3. 他職種・他機関・他事業所が、摂食嚥下について、どんなことをしているのか、どんなことができるのか理解が深まったでしょうか。



4. 本日話し合った解決策やアイデアで実行に移せそうなものがありましたか？



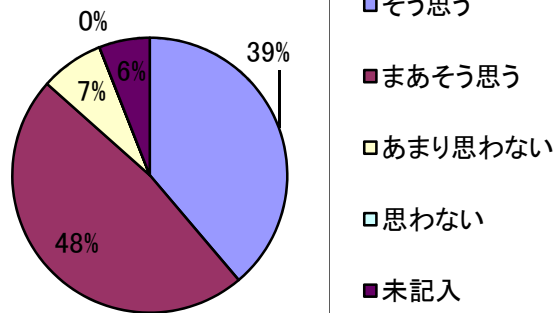
## 2. 具体的な内容

- ・他職種の意見が聞けた
- ・口腔ケア、リハビリetc
- ・連携の方法
- ・今後、具体的に取る
- ・介護現場で口腔ケアの重要性を再認識しました
- ・他職種の疑問・問題に思っていることがわかった
- ・‘食べたい’方への情報が早く伝わればいいですね
- ・各職種が不安に思っていること、困っている事を共有・アドバイスできる
- ・連携の大切さを学ぶことができる
- ・今までは食べられないということで、すぐに栄養剤(エンシュアテルミール)などに切り替わっていたが今回の皆さんの話を聞いて良かったです
- ・栄養士のできることを情報提供できたと思う
- ・相談先の選択肢ができた
- ・施設での取り組み、山本先生の事例紹介が業務の参考になった
- ・顔が見える(他職種の方)会の中から相談・対応ができるようになり、よりサービスにつながる
- ・患者様のレベルに応じて訪問できる歯科医師のリストがあることがわかったこと
- ・今後の在宅連携の参考になった
- ・嚥下についての知識が深まった
- ・あまり関連のあるテーマでなかった分、大変ためになった
- ・在宅にも栄養評価が必要
- ・様々の職種・事業所の方々が集まって様々なアイデアを提供してくれた
- ・義歯＋筋力の大切さ
- ・多職種によるそれぞれの役割が、もっとあればよかったです
- ・歯科の方が関わるとすばらしいことはわかりましたが、主治医・Ns・リハ職・栄養士等多職種の参加がもっとほしかった
- ・ケアマネが会議を開き、良い方法を他職種と共に考えるということ
- ・顔を合わせて話をしたので何かあったときに相談ができそう

#### 4. 具体的な内容

- ・ネットワーク作り
- ・えん下機能判定
- ・連携
- ・問題提起
- ・訪問栄養
- ・話し合いなど
- ・栄養ケアステーションの活用
- ・口腔ケアの重要性の発信
- ・口の中をきれいにする
- ・視点を変える大切さを学びました
- ・遊びを取り入れて運動する
- ・サポートセンターが早く広がればいいですね
- ・栄養士さん・衛生士さん・薬剤師さんとの連携がとれる
- ・歯科医師との連携（必要がわかれば知りえてる情報を渡す）
- ・よく観察してサインを見逃さないようにする
- ・他職種の連携の大切さ
- ・食に関する事は、とても大切だと思う
- ・積極的な情報の発信を収集していきたい
- ・CMがハブ的な役割をし、専門職を巻き込んで連携を取る
- ・嚥下のスクリーニング
- ・現場での情報交換やCMを通しての連携を密にしていく
- ・まずはスタッフ側の知識の向上のため研修会の実施を検討したい
- ・専門分野に特化していない介護職も、少しずつでも良いから今後勉強する
- ・アセスメントシートを作るというのがすごく良かった
- ・出来るところが相談センターをする→新病院？

5. 現場で役立つネットワークができたでしょうか。



5. 具体的な内容

- ・歯科医の現状が理解できた
- ・徐々に作っていきたい
- ・栄養ケアステーションの活用
- ・色々な職種の話が聞いたことが役立つ
- ・CMの方と名刺交換した
- ・介護現場の状況をもっと多くの方に知ってもらいたい
- ・現場と現状の温度差がある
- ・栄養士・薬剤師の方も連携を希望されていることがわかった
- ・業務範囲外のネットワークもある
- ・リハ職・訪看等も来てほしい
- ・栄養士さん・衛生士さん・薬剤師さんとの連携がとれる
- ・施設間で解決するのではなく薬局等、連携情報も必要

6. 他職種・他機関・他事業所について、もう少し知りたい・教えてもらいと思うことがありますか。(どこの何について知りたいか、具体的にご記入ください。)

- ・もっと連携できるように近隣の施設・病院との話をできるこのような集まりをもっとしてほしい
- ・1人の方に巻き込んでいるサービスの人達との連携ツールは何かを考えたい
- ・山本先生の講演には感銘を受けました
- ・STにもう少し参加していただきたい 嚥下評価についての情報提供の場として
- ・どこが何をしているか?リストを作ってほしい
- ・認知症の高齢者に対しての食の対処
- ・介護職の方のお仕事や関わり方について
- ・どこにどういう相談をすればよいか

## 7. 多職種でもっと深めていきたいこと、取り組んでみたいことがありますか？

- ・1つの課題に対して多職種で深めてみたい
- ・在宅介護をする時はチームでのミーティングなどをするのはどうか
- ・情報共有について
- ・生活習慣病ベースで脳梗塞の方に対する在宅支援を多職種でどう関われるか？
- ・駅沿線などのスモールエリアでのネットワーク作り
- ・薬剤師さんにもっと活躍してほしいです 嚥下障害認知症があると服用困難になるので…
- ・情報共有
- ・双方が話しやすい環境作りをしていくことが大切だと思います
- ・認知症について
- ・ネットワークの恒常性
- ・情報交換



## 8. その他ご意見等がございましたら、ご記入ください。

- ・ワールド・カフェ方式面白かったです
- ・セッションの話す時間が短い
- ・テーマを1つにしぼって、もう少しゆっくり話したほうが良い
- ・有意義な時間をありがとうございました
- ・とても良い内容だったと思います
- ・時間がもう少しあれば・・・
- ・他職種の方々の意見交換ができることで自分のスキルアップにつながります
- ・これからも楽しみに参加させて下さい
- ・今回は新しい意見も聞くことができ、とても有意義でした
- ・視野が広がりよい経験となりました
- ・実行にうつせるアイデアをひろえるように他の職種の方に役立つ意見が言えるように今後も参加して勉強していきたいです
- ・今後はこのような「具体的な深いワンテーマ」をしぼっていった方法もいいと思う
- ・時間がもうちょっとあったらいいなと思いました
- ・たいへん有意義でした
- ・ワキアイアイと意見交換できた
- ・初めての参加だったが、とても有意義でした
- ・できれば20:30、遅くとも21:00には終わってほしいです
- ・セッション3つは多すぎです！
- ・もう少し互いが交流する時間を作らないとネットワークになりません
- ・駐車場の広い会場にして下さい

# 平成26年8月6日 南福社区における地域在宅医療・介護連携意見交換会 『食で職をつなぐ』（参加者名簿）

|    | 氏 名    | 職 種     | 所 属                 |
|----|--------|---------|---------------------|
| 1  | 永井 宏   | 医師      | ながい内科クリニック          |
| 2  | 井上 健一  | 介護支援専門員 | AIAIケアプラン           |
| 3  | 井上 妙子  | 介護支援専門員 | AIAIケアプラン南          |
| 4  | 大原 由照  | 介護支援専門員 | あゆむ介護相談事業所          |
| 5  | 川西 之乃  | 介護支援専門員 | アミューズ富永 居宅介護支援事業所   |
| 6  | 庄司 秀明  | 介護支援専門員 | あゆむ介護相談事業所          |
| 7  | 中田 真奈美 | 介護支援専門員 | 介護老人保健施設 みくに        |
| 8  | 西岡 尚子  | 介護支援専門員 | 介護老人保健施設 みくに        |
| 9  | 延永 和歌子 | 介護支援専門員 | 小規模多機能型居宅介護 たんぽぽ    |
| 10 | 古山 里枝  | 介護支援専門員 | あゆむ介護相談事業所          |
| 11 | 松井 孝光  | 介護支援専門員 | 鴻仁福祉会 愛光苑在宅介護支援センター |
| 12 | 目尾 昌史  | 介護支援専門員 | 小規模多機能型居宅介護 たんぽぽ    |
| 13 | 渡辺 慎一  | 介護支援専門員 | 在宅支援センターなみき         |
| 14 | 黒川 智美  | 介護職     | 特別養護老人ホーム あさひ園      |
| 15 | 難波 希陽  | 介護職     | 特別養護老人ホーム あさひ園      |
| 16 | 頼宮 寛大  | 介護職     | 老人福祉施設 けやき          |
| 17 | 藤原 理沙  | 介護職     | 特別養護老人ホーム あさひ園      |
| 18 | 前田 加奈  | 介護職     | 特別養護老人ホーム あさひ園      |
| 19 | 山口 紀子  | 介護職     | デイサービス かりん          |
| 20 | 亀田 泰世  | 介護職(訪問) | 南ふれあい介護サービスセンター     |
| 21 | 樋口 則子  | 介護職(訪問) | 南ふれあい介護サービスセンター     |
| 22 | 廣岡 孝哉  | 介護福祉士   | 岡山ハッピーライフ操風         |
| 23 | 光岡 信子  | 会長      | 南地域愛育委員協議会          |
| 24 | 高橋 初女  | 看護師     | 岡山ハッピーライフ操風         |
| 25 | 都築 昌恵  | 看護師(訪問) | 訪問看護ステーションまいんど      |
| 26 | 有富 美雪  | 管理栄養士   | おかやま薬局 岡北店          |
| 27 | 石田 綾香  | 管理栄養士   | 老人保健施設 みくに          |
| 28 | 宇野 富美子 | 管理栄養士   | 河田病院                |
| 29 | 江口 佳美  | 管理栄養士   | 岡山県栄養士会             |
| 30 | 神崎 珠代  | 管理栄養士   | 特別養護老人ホーム 大ヶ池荘      |
| 31 | 草村 芳美  | 管理栄養士   | こやま薬局 青江店           |
| 32 | 小坂 美由紀 | 管理栄養士   | 岡山県栄養士会             |
| 33 | 坂本 八千代 | 管理栄養士   | 岡山大学病院              |
| 34 | 笹埜 三世里 | 管理栄養士   | 川崎医科大学付属 川崎病院       |
| 35 | 佐藤 幸枝  | 管理栄養士   | 特別養護老人ホーム みどり荘      |
| 36 | 鈴木 景子  | 管理栄養士   | 岡山赤十字病院             |
| 37 | 竹内 ひとみ | 管理栄養士   | 岡山県栄養士会             |
| 38 | 寺尾 幸子  | 管理栄養士   | 岡山県栄養士会             |
| 39 | 則武 明希  | 管理栄養士   | かとう内科並木通り診療所        |
| 40 | 春名 美智子 | 管理栄養士   | 岡山博愛会病院             |

|    |         |           |                     |
|----|---------|-----------|---------------------|
| 41 | 森 恵子    | 管理栄養士     | 岡山ろうさい病院            |
| 42 | 森光 大    | 管理栄養士     | あいの里クリニック           |
| 43 | 中上 裕子   | 管理者       | 藤田荘認知症ディサービス        |
| 44 | 太田 靖    | 歯科医師      | 太田歯科医院              |
| 45 | 垣野 正篤   | 歯科医師      | 垣野歯科医院              |
| 46 | 加藤 淳子   | 歯科医師      | ともゆう歯科              |
| 47 | 熊代 直樹   | 歯科医師      | 岡山市歯科医師会            |
| 48 | 居樹 秀明   | 歯科医師      | すえき歯科医院             |
| 49 | 華房 英樹   | 歯科医師      | はなふさ歯科医院            |
| 50 | 山本 道代   | 歯科医師      | あいの里クリニック 歯科        |
| 51 | 奥野 妃奈子  | 歯科衛生士     | 訪問歯科プライムケアデンタル      |
| 52 | 松島 育子   | 歯科衛生士     | 訪問歯科プライムケアデンタル      |
| 53 | 小橋 美由紀  | 歯科衛生士     | 岡山市ふれあい介護予防センター     |
| 54 | 武田 明美   | 歯科衛生士     | 岡山県歯科衛生士会           |
| 55 | 多田 孝子   | 歯科衛生士     | 岡山県歯科衛生士会           |
| 56 | 寺尾 忍    | 歯科衛生士     | 社団東風会 グレイスデンタルクリニック |
| 57 | 松尾 慶子   | 歯科衛生士     | 岡山県歯科衛生士会           |
| 58 | 西村 圭二   | 歯科助手      | はなふさ歯科医院            |
| 59 | 大山 三枝子  | 調理員       | 岡山ハッピーライフ操風         |
| 60 | 井藤 万寿子  | 調理師       | 岡山ハッピーライフ操風         |
| 61 | 前田 飛鳥   | 調理師       | 岡山ハッピーライフ操風         |
| 62 | 藤田 修二   | 福祉用具専門相談員 | アミューズ富永福祉用具レンタル事業所  |
| 63 | 政廣 知範   | 福祉用具専門相談員 | アミューズ富永福祉用具レンタル事業所  |
| 64 | 岡本 順子   | 保健師・センター長 | 南区南地域包括支援センター       |
| 65 | 野上 直樹   | マッサージ・針灸師 | えん鍼療所               |
| 66 | 岡田 美佐子  | 薬剤師       | 岡田薬局                |
| 67 | 河口 敏浩   | 薬剤師       | ハートライフ薬局 京町店        |
| 68 | 河口 仁美   | 薬剤師       | ハートライフ薬局 浦安店        |
| 69 | 木原 ゆき子  | 薬剤師       | こやま薬局 西市店           |
| 70 | 熊岸 敬晃   | 薬剤師       | 熊岸薬局                |
| 71 | 高場 大基   | 薬剤師       | アイビー薬局 彦崎店          |
| 72 | 中塚 雄太   | 薬剤師       | ハートライフ薬局 西大寺町店      |
| 73 | 西山 隆雄   | 薬剤師       | 西山薬局                |
| 74 | 服部 真幸   | 薬剤師       | こやま薬局 並木町店          |
| 75 | 原口 佳子   | 薬剤師       | こやま薬局 大供店           |
| 76 | 福井 貴弘   | 事務・課長     | 医療政策推進課             |
| 77 | 小野 克美   | 保健師・室長    | 医療政策推進課             |
| 78 | 藤澤 さくや子 | 事務・副主査    | 医療政策推進課             |
| 79 | 黒住 紀子   | MSW・主任    | 医療政策推進課             |

※敬称略・職種優先50音順